



3/21(金)~3/27(木) LINEUP



BAUS 映画から船出した映画館

監督：南木元空
2024年/日本/116分
多くの観客と作り手に愛された文化の交差点<吉祥寺バウシアター>と、時流に翻弄されながらも、その場所を守り続けた家族をめぐる約90年の物語。



大きな家

監督・編集：竹林亮
2024年/日本/123分
『14歳の菜』監督・竹林亮×企画・齊藤工とある児童養護施設。さまざまな事情によって親と離れて暮らす子どもたちを映しとる。



オーガスト・マイ・ヘヴン

監督・脚本：工藤梨穂
2024年/日本/40分
旧友になりすました女と親友の二人の青年。奇妙で刹那的な関係のその先にあるものは...？
新しく瑞々しい青春映画が誕生！



どうすればよかったか？

監督・撮影・編集：藤野知明
2024年/日本/101分
面倒見がよく優秀な姉に統合失調症の症状が現れた。20年にわたりカメラを通して家族との対話を重ねた破格のドキュメンタリー。

▼もうすぐ上映終了予定！上映は3/27(木)まで▼



バッドランズ

脚本・製作・監督：テレンス・マリック
1973年/アメリカ/94分
15才のホリーとゴミ収集作業員の青年キット。ホリーの父をキットが射殺した日から、ふたりの逃避行が始まる——。アメリカ映画史上の重要作が遂に日本初公開。



キノ・ライカ 小さな町の映画館

監督：ヴェリコ・ヴィダク
2023年/81分/フランス・フィンランド
アキ・カウリスマキの映画館キノ・ライカ。フィンランドの鉄鋼の町カルッキラに、はじめての映画館として誕生した。人々の映画と町への想いをめぐる物語。

▼一週間限定上映！上映は3/27(木)まで▼



みんな笑え

監督・脚本：鈴木太一
2024年/105分/日本
人気もない、人望もない、野心もない、恋人もずっといない。落ちぶれた落語家の虚しい生き様を通して描く、落語と漫才、親と子をめぐる熱くほろ苦い人間賛歌。

Event ★下記の回上映終了後には舞台挨拶開催予定

『BAUS 映画から船出した映画館』

3/22(土)10:40~の回上映後 >>> 登壇：南木元空監督

『みんな笑え』

3/23(日)15:00~の回上映後 >>> 登壇：鈴木太一監督
野辺富三さん（主演）

3/21(金)	9:00 キノ・ライカ	10:40 オーガスト・マイ・ヘヴン	11:40 大きな家	14:05 どうすればよかったか？	16:05 バッドランズ	18:00 BAUS	20:15 みんな笑え
3/22(土)		10:40 ★上映後舞台挨拶 BAUS	13:20 どうすればよかったか？	15:20 みんな笑え	17:25 オーガスト・マイ・ヘヴン	18:25 大きな家	20:50 バッドランズ
3/23(日)				15:00 ★上映後舞台挨拶 みんな笑え			
3/24(月)	9:00 どうすればよかったか？	11:00 キノ・ライカ	12:40 BAUS	14:55 オーガスト・マイ・ヘヴン	15:55 バッドランズ	17:50 大きな家	20:15 みんな笑え
3/25(火)							
3/26(水)	9:20 オーガスト・マイ・ヘヴン	10:20 大きな家	12:45 キノ・ライカ	14:25 バッドランズ	16:20 どうすればよかったか？	18:20 みんな笑え	20:25 BAUS
3/27(木)							

>>> 次週の上映スケジュールは3/24(月)21:00頃発表

チケット発売

3/19(水)より予約開始（オンライン→0:00～、窓口→9:00～）

鑑賞料金

一般¥1,800 近所さん¥1,500 シニア/U25¥1,300 U18¥1,000 障がい者手帳¥1,000

※『オーガスト・マイ・ヘヴン』は均一料金¥1,500

※当館では本編上映開始後のご入場はできません。お時間に余裕を持ってお越しください。※イベント予定は変更になることもございます。予めご了承ください。